

執筆者紹介（執筆順，＊は編者）

＊倉科一希（くらしな・いつき） はしがき，序章，第2章

1971年 長野県出身。

2004年 ニュージャージー州立ラトガース大学ニューブランズウィック校歴史学研究所博士課程修了。Ph. D.（歴史学）

現在 同志社大学グローバル地域文化学部教授。

著作 『アイゼンハワー政権と西ドイツ——同盟政策としての東西軍備管理交渉』 ミネルヴァ書房，2008年。

『現代アメリカ政治外交史——「アメリカの世紀」から「アメリカ第一主義」まで』 共編著，ミネルヴァ書房，2020年。

＊黒田友哉（くろだ・ともや） 序章，第3章

1979年 奈良県生まれ。

2009年 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。博士（法学）。

現在 専修大学法学部教授。

著作 『ヨーロッパ統合と脱植民地化，冷戦——第四共和制後期フランスを中心に』 吉田書店，2018年。

“EC-ASEAN Relations in the 1970s as an Origin of the European Union-Asia Relationship,” in *Journal of European Integration History*, 25/1 (2019).

＊森 靖夫（もり・やすお） 序章，第1章，あとがき

1978年 兵庫県生まれ。

2008年 京都大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。

現在 同志社大学法学部教授。

著作 『日本陸軍と日中戦争への道——軍事統制システムをめぐる攻防』 ミネルヴァ書房，2010年。
『「国家総動員」の時代——比較の視座から』 名古屋大学出版会，2020年。

ジュリアーノ・ガラヴィーニ（Giuliano Garavini） 第4章

1976年 イタリア生まれ。

2006年 フィレンツェ大学博士号（国際関係史）取得。

現在 ローマ第三大学准教授。

著作 *After Empires: European Integration, Decolonization, and the Challenge from the Global South 1957-1986*, Oxford, Oxford University Press, 2012.

The Rise and Fall of OPEC in the Twentieth Century, Oxford, Oxford University Press, 2019.

高坂博史（こうさか・ひろふみ） 第4章訳

1990年 京都府生まれ。

2023年 京都大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。

現在 名古屋市立大学大学院人間文化研究科講師。

著作 “Overcoming the Second Cold War: The Conference on Disarmament in Europe and the Relaxation of East-West Tensions, 1983-1986,” *The International History Review*, 2023.

『新冷戦をこえて——ヨーロッパデタントから冷戦の終焉へ』 名古屋大学出版会，2025年。

小川浩之（おがわ・ひろゆき） 第5章

1972年 三重県生まれ。

2003年 京都大学大学院法学研究科博士後期課程研究指導認定退学。博士（法学）。

現在 東京大学大学院情報学環教授。

著作 『イギリス帝国からヨーロッパ統合へ——戦後イギリス対外政策の転換と EEC 加盟申請』名古屋大学出版会、2008年。
『英連邦——王冠への忠誠と自由な連合』中央公論新社、2012年。

能勢和宏（のせ・かずひろ） 第6章

1987年 兵庫県出身。

2018年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。

現在 立命館大学文学部准教授。

著作 『初期欧州統合 1945-1963——国際貿易秩序と「6 か国のヨーロッパ」』京都大学学術出版会、2021年。
『20世紀の社会と文化——地続きの過去を知る』共著、ミネルヴァ書房、2024年。

鈴木宏尚（すずき・ひろなお） 第7章

1972年 静岡県生まれ。

2007年 慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（法学）。

現在 静岡大学人文社会科学部教授。

著作 『池田政権と高度成長期の日本外交』慶應義塾大学出版会、2013年。
『大平正芳の中国・東アジア外交——経済から環太平洋連帯構想まで』共著、PHP エディターズ・グループ、2024年。

ローラン・ヴァルロゼ（Laurent Warlouzet） 第8章

1978年 フランス生まれ。

2007年 パリ・ソルボンヌ大学博士号（歴史学）取得。

現在 パリ・ソルボンヌ大学教授。

著作 *Governing Europe in a Globalizing World: Neoliberalism and its alternatives following the Oil Crisis*, London, Routledge, 2018.
Europe contre Europe: Entre liberté, solidarité et puissance, Paris, CNRS éditions, 2022.

窪内尊之（くぼうち・たかゆき） 第8章訳

1992年 東京都生まれ。

2021年 早稲田大学大学院政治学研究科国際関係領域修士課程卒業。

現在 ソルボンヌ・ヌーヴェル大学欧州研究科博士課程在籍中。

著作 「第四共和政期フランス広報文化外交体制の拡大と変容——対米外交の事例から（1945-1958）」『日仏政治研究』17号、2023年。

飯村 豊 (いいむら・ゆたか) コラム

1946年 東京都生まれ。

1969年 東京大学中退・外務省入省。

大臣官房長、在インドネシア特命全権大使、在フランス特命全権大使、中東担当政府代表、東京大学公共政策大学院客員教授などを経て、

現 在 公益財団法人日仏会館評議員（議長）。

著 作 『外務省は「伏魔殿」か——反骨の外交官人生と憂国覚書』芙蓉書房出版、2023年。

トーマス・A・シュウォーツ (Thomas Alan Schwartz) 第9章

1954年 生まれ。

1985年 ハーバード大学博士号（歴史学）取得。

現 在 ヴァンダービルト大学歴史学部教授。

著 作 *Henry Kissinger and American Power: A Political Biography*, NY, Hill and Wang, 2020.
Lyndon Johnson and Europe: In the Shadow of Vietnam, Cambridge, Harvard University Press, 2003.

石本凌也 (いしもと・りょうや) 第9章記

1996年 福岡県生まれ。

2024年 同志社大学大学院法学研究科博士課程（後期課程）修了。博士（政治学）。

現 在 北海道教育大学教育学部函館校講師。

著 作 「米ソ戦略兵器制限交渉をめぐる日本外交 1972-1979年——『被爆国』である『同盟国』の受容と主張」『国際政治』209号（2023年4月）。

“Henry Kissinger and Japan: Focusing on the Nixon-Ford Administration Years,”
ROLES REPORT, No. 29 (Jan. 2024).

ピエール・ジュルヌー (Pierre Journoud) 第10章

1973年 フランス生まれ。

2007年 パリ第1バンテオン・ソルボンヌ大学博士号（歴史学）取得。

現 在 ボール・ヴァレリー・モンペリエ第3大学教授。

著 作 *De Gaulle et le Vietnam (1945-1969): La réconciliation*, Paris, Tallandier, 2011.
Dien Bien Phu: La fin d'un monde, Paris, Vendémiaire, 2019.

粕谷真司 (かすや・しんじ) 第10章記

1991年 愛知県生まれ。

2023年 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学。博士（法学）。

現 在 慶應義塾大学・千葉商科大学・専修大学非常勤講師。

著 作 「サッチャー政権初期イギリスと欧州政治協力——「ロンドン報告」の作成過程、1980-1981年」『国際政治』第199号、2020年。

「英連邦のヨーロッパの救済？——イギリスの対南アフリカ政策と欧州政治協力、1985-1986年」『法学政治学論究』第134号、2022年。

青野利彦（あおの・としひこ） 第11章

1973年 広島県生まれ。
2007年 カリフォルニア大学サンタ・バーバラ校歴史学研究科博士課程（Ph. D. in History）。
現 在 一橋大学大学院法学研究科教授。
著 作 『冷戦史』上・下、中公新書、2023年。
『国際政治史——主権国家体系のあゆみ [新版]』共著、有斐閣、2024年。

尾身悠一郎（おみ・ゆういちろう） 第11章

1989年 香川県生まれ。
2022年 一橋大学院法学研究科後期博士課程（Ph. D. in Law）。
現 在 公益財団法人自然エネルギー財団上級研究員。
著 作 『国際経済と冷戦の変容——カーター政権と危機の1979年』千倉書房、2024年。

武田 悠（たけだ・ゆう） 第12章

1982年 岡山県生まれ。
2011年 筑波大学大学院人文社会科学研究科修了。
現 在 広島市立大学国際学部准教授。
著 作 『「経済大国」日本の対米協調——安保・経済・原子力をめぐる試行錯誤、1975～1981年』ミネルヴァ書房、2015年。
『日本の原子力外交——資源小国70年の苦闘』中央公論新社、2018年。

細谷雄一（ほそや・ゆういち） 第13章

1971年 千葉県生まれ。
2000年 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了。博士（法学）。
現 在 慶應義塾大学法学部教授。
著 作 『戦後国際秩序とイギリス外交——戦後ヨーロッパの形成 1945年～1951年』創文社、2001年。
『倫理的な戦争——トニー・ブレアの栄光と挫折』慶應義塾大学出版会、2009年。

鈴木 均（すずき・ひとし） 補章

1974年 埼玉県生まれ。
2007年 慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学，European University Institute 歴史文明学科修了。Ph. D. (History and Civilization)
現 在 国際文化会館地経学研究所主任研究員，21世紀政策研究所欧州研究会委員。
著 作 『サッチャーと日産英国工場——誘致交渉の歴史 1973—1986年』吉田書店、2015年。
『自動車の世界史——T型フォードからEV，自動運転まで』中公新書、2023年。